

虫の眼で見た安曇野の自然

～安曇野市における希少種保全の取り組みについて～

「安曇野は自然が豊か」と誰もが言います。事実、常念岳、大天井岳に代表される高山から三川合流部下まで約2,400mもの標高差があり、そこには多くの生物が生育・生息してきました。ところが地域発展に伴う各種開発や昨今の地球規模の異変は、動植物に大きな影響を与えています。今回は、変わりゆく安曇野の生きものたちの姿と、安曇野市が全国に先駆けて取り組んできた希少動植物種保全の取り組みの実際を、安曇野市生物多様性アドバイザーの那須野雅好さんに語っていただきます。



ステンドグラスのような翅のミヤマカワトンボ(左)と安曇野の自然の象徴オオルリシジミ(右)

話し手： 那須野 雅好 さん

1959年生まれ。元安曇野市職員。1991年、小中学生を対象とした三郷昆虫クラブを設立し昆虫教育を実践。また、1995年「安曇野オオルリシジミ保護対策会議」を設立、代表として希少種の保全活動にあたっている。環境省希少野生動植物保存推進員、長野県文化財保護指導員、安曇野市生物多様性アドバイザーなど。

2024年5月、「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰。安曇野市三郷在住

日時：令和7年7月10日(木) 午後1時30分～3時30分

場所：穂高会館第3会議室（安曇野市穂高5047）

参加費：500円（定員30名）

申し込み先：手塚 090-1883-6867（9:00～17:00）

又はこちらにアクセス→



と〜くサロンとは…

月に一回集まって、年齢も性別も経歴も関係なく井戸端会議感覚で地域の方のお話を聞きましょう、という会です。気楽に参加いただきたいのですが、資料の準備の關係でできるだけ予約をお願いしております。

次回は… 8月7日(木) 13:30～

「安曇野の祭り(仮)」 宮下 尚子さん

(安曇野市豊科郷土博物館)

です。